

平成25年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年12月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,454億円余
2. 前年同月比	3.9% (店舗数調整後/4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭5.0%(89.4%) : 非店頭-4.7%(10.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成25年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	875,636㎡ (前年同月比:-4.9%)
6. 総従業員数	19,282人 (前年同月比:1.1%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 5.6%、5-7月 4.3%、6-8月 4.4%、 7-9月 2.3%、8-10月 3.3%、9-11月 2.9%

[参考] 平成24年11月の売上高増減率は3.1% (店舗数調整後)

【11月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は約1%増とほぼ前年並みであったが、購買件数と客単価の上昇によって、売上は3.9%増と大きく伸ばす結果となった。
- (2) 気温低下で重衣料や防寒アイテムを中心に、主力の衣料品(+3.4%)が好調に推移した。具体的には、コート(カシミア・ウール・ダウン素材)、スーツ、ジャケット、ニットのほか、ストール、マフラー、スカーフ、手袋などの動きが良かった。
- (3) 高額品は宝飾品と高級時計を中心に大幅増(美・宝・貴:+25.4%)を続けている。特に高級時計については、都内平均で前年比3~4割増、中には倍増を記録した店もある。
- (4) 季節商材の動向では、歳暮とおせちについてはほぼ前年並みの一方、クリスマスケーキについては二桁増の店もあるなど好調に推移している。いずれもネット受注の伸びが良のほか、購買単価の上昇も見られる。
- (5) 12月中旬までの東京地区の商況は、概ね3~4%増で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した:7店、②変化なし:7店、③減少した:4店
- (3) 11月歳時記(文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した:2店、②変化なし:8店、③減少した:3店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年11月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	145,444,602	100.0	3.9 (3.3)
紳士服・洋品	13,344,637	9.2	4.3 (3.8)
婦人服・洋品	28,861,977	19.8	3.6 (2.8)
子供服・洋品	2,242,974	1.5	-3.0 (-3.2)
その他衣料品	2,906,950	2.0	2.8 (2.4)
衣 料 品	47,356,538	32.6	3.4 (2.8)
身のまわり品	18,083,586	12.4	7.4 (7.0)
化粧品	7,952,072	5.5	5.2 (5.0)
美術・宝飾・貴金属	8,623,713	5.9	25.4 (25.1)
その他雑貨	6,503,698	4.5	2.4 (2.3)
雑 貨	23,079,483	15.9	11.0 (10.8)
家具	1,812,030	1.2	0.9 (-2.7)
家電	1,847,029	1.3	131.0
その他家庭用品	4,724,979	3.2	-2.7 (-3.0)
家 庭 用 品	8,384,038	5.8	12.5 (11.3)
生 鮮 食 品	6,790,543	4.7	1.7 (1.1)
菓 子	9,964,112	6.9	-1.6 (-2.4)
惣 菜	8,150,315	5.6	-3.6 (-4.2)
その他食料品	14,568,892	10.0	-1.2 (-1.4)
食 料 品	39,473,862	27.1	-1.3 (-1.8)
食 堂 喫 茶	3,137,140	2.2	0.6 (0.0)
サ ー ビ ス	2,319,985	1.6	-5.3
そ の 他	3,609,970	2.5	2.2 (-1.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商品券	4,867,003 千円	-4.5 (-5.0)
従業員数	19,282 人	1.1
店舗面積	875,636 m ²	-4.9

営業日数	30.0 日	前年	30.0 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が9か月連続、身のまわり品が4か月連続、衣料品が2か月ぶり、家庭用品が3か月ぶりのプラス。食料品が2か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が16か月連続、美術・宝飾・貴金属が11か月連続、紳士服・洋品、生鮮食品が4か月連続、婦人服・洋品、その他衣料品、その他雑貨、家電が2か月ぶり、家具が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	3.9	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	4.3	0.4	4か月連続プラス
婦人服・洋品	3.6	0.7	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	-3.0	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	2.8	0.1	2か月ぶりプラス
衣料品	3.4	1.1	2か月ぶりプラス
身のまわり品	7.4	0.9	4か月連続プラス
化粧品	5.2	0.3	16か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	25.4	1.2	11か月連続プラス*
その他雑貨	2.4	0.1	2か月ぶりプラス*
雑貨	11.0	1.6	9か月連続プラス
家具	0.9	0.0	3か月ぶりプラス
家電	131.0	0.7	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-2.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
家庭用品	12.5	0.7	3か月ぶりプラス
生鮮食品	1.7	0.1	4か月連続プラス*
菓子	-1.6	-0.1	8か月連続マイナス*
惣菜	-3.6	-0.2	3か月連続マイナス*
その他食料品	-1.2	-0.1	2か月連続マイナス*
食料品	-1.3	-0.4	2か月連続マイナス
食堂喫茶	0.6	0.0	2か月ぶりプラス
サービス	-5.3	-0.1	3か月連続マイナス
その他	2.2	0.1	2か月連続プラス
商品券	-4.5	-0.2	31か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>